

CS 川越市立南古谷小学校 学校だより 6月号

令和8年5月29日発行



なのはな



【学校教育目標】

- かしく
- ゆたかに
- たくましく



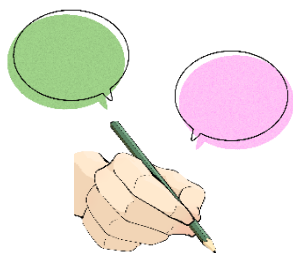
学校 HP

かたつむり 進め進めよ 雨の道

校長 嘉手川 満



紫陽花が色づく季節を迎えました。新しい学年がスタートして2か月が経ち、新しい環境にもなれ、一輪一輪違った色彩をみせる紫陽花のように、こどもたちも一人ひとりの色（自分らしさ）を見せてくれています。



最近、国語の学習で、いろいろな学年の子が校長室にインタビューに来ています。「小学生のころ夢中になっていたものは何ですか」「どうして校長先生になったのですか」「南古谷小のよいところはどこだと思いますか」「校長先生は普段どんな仕事をしているのですか」など、こどもたちの“知りたい”気持ちが伝わってきます。真剣にメモを取る子、ニコニコしながら話す子、緊張しながらも一生懸命質問する子。私の答えに「そうなんですね」「なるほど」「確かに」と、うなずく姿に、ほほえましい気持ちになりました。

学習指導要領には、「話すこと・聞くこと」の学習として、相手に応じて質問したり、要点をとらえて聞いたりする力を育てることが示されています。校長室でのインタビューは、これらの力を実際の対話の中で学ぶ貴重な機会となっています。まっすぐに問い、相手の言葉を受け止めようとする姿には、ゆっくりでも確かに前へ進もうとするこどもたちの力を感じます。

こうした日々の学びの積み重ねは、季節の移ろいの中でも育っていきます。「梅雨」という言葉には、「梅の実が熟す頃に降る雨」という由来があります。梅の実がゆっくりと熟していくように、こどもたちも日々の学びの中で少しずつ力を積み重ねています。雨の日が続く時期でも、一歩ずつ前へ進もうとする姿を大切に、教室では友達と協力して課題に取り組んだり、読書に向かったりする時間を充実させていきたいと思っています。



梅雨明けには、こどもたちがひとまわり成長した姿を見せてくれることでしょう。